

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民会議・附属機関等への市民参加及び女性参画推進事業			
事業担当	総務部 行政総務課			
予算科目	0-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード	<input checked="" type="radio"/> ソフト
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために		
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために		
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ		
根拠法令等				
対象・受益者			事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】			
目的・目標		事業の概要		
多様な市民意見が行政運営に反映されています。		必要と認められる附属機関等については委員の公募を積極的に推進します。また、施策等決定過程の場への女性の参画機会の拡大を図るため、附属機関等の女性構成比率を高めるように取り組みます。		

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	公募実施状況等調査及び選出基準周知実施回数				単位	回
	説明・算定式	附属機関等を所管する関係課へ公募実施状況等に係る調査を実施し、あわせて選出基準の周知・指導を行う。					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	1	1	1	1		
	実績	1	1	1			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	市民委員が参画する附属機関等における公募委員の割合				単位	%
	説明・算定式	公募委員数 / 市民委員が参画する附属機関等委員数 × 100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	20	20	20	20		
	実績	18.1	17.9	16.1			
成果指標②	指標名	附属機関等における女性委員の割合				単位	%
	説明・算定式	女性委員数 / 附属機関等委員総数 × 100					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	40	40	40	40		
	実績	33.4	33.4	28.0			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
<p>通知文及び説明会を通じて、各課に公募委員及び女性委員の選出を呼びかけました。附属機関及び懇話会の整理を行い、女性委員を多く含む機関が調査対象外となったため、女性委員数の割合については前年度から5.4ポイント減の28.0%となっています。公募委員の割合については1.8ポイント減の16.1%となっています。</p>							
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募委員及び女性委員の選出割合を高めていくことは、多様な意見を市政に反映させるためには必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	附属機関等における公募市民や女性委員の割合を高めることは、市民の視点に立ったサービスの提供につなげていくためには、有効な手段であると考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づき、公募市民や女性委員の割合を高めることは、多様な市民意見を反映させる手法として妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公募委員及び女性委員の選出割合を改善していくため、通知や説明会の機会を通じて各担当課への働きかけを行うことが効率的であると考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		公募委員と女性委員を増やすことが必要です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額	
事業内容		附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他 特財	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
	事業費 (A)	0	0	0	0	
執行率 (%)		—	—	—		

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	公募委員と女性委員の選出割合の向上について、引き続き各担当課に働きかけを行います。
課長コメント	引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民と市長の対話集会実施事業				
事業担当	市民部 市民情報・相談課				
予算科目	0-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ハード ●ソフト		
行政改革の位置付け	'11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために			
	'01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために			
	'02	2 多様な意見を行政運営に活かすしくみ			
根拠法令等					
対象・受益者			事業期間	～ 平成26年度	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】				
目的・目標			事業の概要		
市民の視点からの発想を活かした行政運営が進み、市政への理解が深まっています。			市長が地域に向向いて市民と直接意見交換を行い、市民からの様々な意見や提案を可能な限り行政運営へ反映します。また、市民との情報共有を進めるため、会議の概要や結果について公表します。		

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	「市長と語ろう！ほっとミーティング」の実施回数				単位	回
	説明・算定式	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が地域に向向き、市民と直接対話を実施した回数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	16	11	5	-		
	実績	14	11	3			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	市民から提案され検討する意見の件数				単位	件
	説明・算定式	「市長と語ろう！ほっとミーティング」で市長と意見交換した市民から提案され検討する意見の件数					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	32	22	30	-		
	実績	81	39	38			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	③：遅れている						
	遅れている理由	実施に当たり、スケジュール調整が整わなかったため					
平成26年度の主な取組と成果							
平成23年度から実施してきたミーティングの総括として、今までいただいた御意見・御提案をきっかけに実現した具体的な施策等について市長から報告し、さらに御意見をいただき市政に反映していく取組として実施しました。計56人（参加者28人、傍聴者28人）の市民の参加がありました。結果については、報告書としてまとめ、参加者にフィードバックしました。なお、対話集会の内容及び意見の市政への反映状況は、ホームページ等により広く市民に情報提供を行っています。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と協働して魅力あるまちづくりを進めるため、市長が市民と直接対話を行うことで、市民の理解を深め、市民の視点から行政運営を行うため必要な取組です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民からの生きた声を聴取し、市全体のまちづくりや市民満足度を高めた政策・施策展開に反映します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民に身近な市政の実現のため必要です。また、地域の課題を地域の皆さんと一緒に考えることは協働の観点からも妥当な事業です。現行の業務執行体制で取り組んでいきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	地域ごとの課題を広く聴取し市政に反映するものであることから、行政が直接行うべき事業です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		実施した対話集会により寄せられた意見等の市政への反映状況の確認と施策への反映に努めていきます。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収	市長が各地区を訪問し、市民との対話により地域の課題等を広く吸収	市長が市民との直接の対話により、市政に関わる課題等を広く吸収	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
課長コメント
市長が市民の皆様との直接対話をとおり、市民のご意見やご提案をお聞きし、市長が市政の運営に活かしていく目的で実施しています。今後、いただいた意見等を施策にいかに関係していかかが課題であると考えます。